

交通事故から守ろう！ ピッカピカの1年生



～交通安全はご家庭から～

小学生になったとは言え、まだまだ幼児性が強く安心できません。

行動範囲が広くなり1人で行動する機会が増え、危険が多くなります。

交通ルールを守り、安全な行動がとれるよう実際場でくり返し教えてあげましょう。

◆入学前にしていただきたいこと

通学路を子どもと一緒に歩き、子どもの目線に立って、どんな危険があるか、どうしたら安全かを**その場**で教えてあげましょう。

- 道路の安全な渡り方
- 信号の色の意味や利用方法
- 見通しの悪い交差点へ出るとき
- 止まっている車があるとき など

○ 歩行者用信号があるときは、その信号を見ます。



- 青：車に気をつけて渡りましょう。
- 青点滅：渡り始めてはいけません。
- 赤：渡ってはいけません。

○ 3色の信号機だけがあるときは、その信号を見ます。



- 青：車に気をつけて渡りましょう。
- 黄：渡り始めてはいけません。
- 赤：渡ってはいけません。

◆入学後に気をつけていただきたいこと

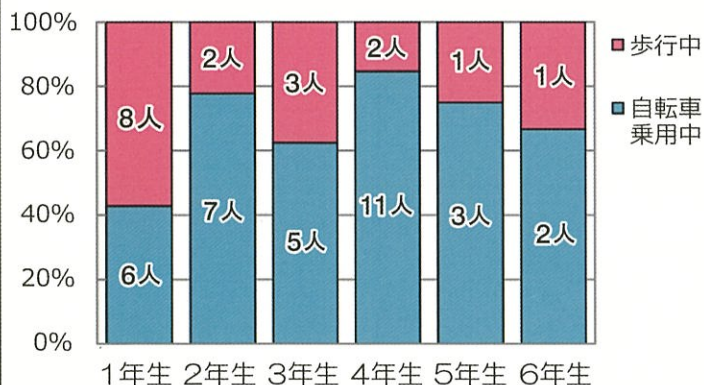
飛び出し事故を防ぐための「**3ない運動**」

- ① 忘れものをさせない
- ② 遅刻をさせない
- ③ 出がけに叱らない



◆1年生は歩行中の事故が5割以上

小学生の歩行中・自転車乗用中の負傷者数
(H26～H30 松阪市・明和町・多気町 合計)



小学生の歩行中・自転車乗用中の負傷者数の割合を学年別に見てみると、

・歩行中の割合が最も多いのは、1年生 (57.1%) という特徴があります。

学年が上がっていくと、自転車乗車中の事故が多くなる傾向にあります。

自転車に乗るときは、安全のためにヘルメットを着用させましょう。

自転車乗用中に事故を起こし、加害者になってしまう場合がありますので、保険に加入することをお勧めします。

松阪多気地区交通安全対策会議

(事務局：松阪市環境生活部地域安全対策課 TEL：0598-53-4061)